

11月1日（火）～6日（日）は「いしかわ教育ウィーク」でした。教育ウィークの期間は、県立学校では公開授業の他、学校ごとにさまざまな独自の取り組みが行われました。本校では11月3日（木、祝）に公開授業、教育講演会が行われました。当日予定されていた地域清掃は雨のため中止となりました。

ここでは教育講演会の様子をお知らせいたします。

【教育講演会】

人権教育エンタティナーとしていじめ撲滅、自殺防止など人権教育、命の大切さについて啓発活動を行っている「登山ポール」氏を講師として、“しあわせマウンテンをめざして ～生きる力～”と題した講演会が開催されました。氏は「いじめ撲滅」「自殺反対」「いつも心にマウンテン」を訴えながら、212日間かけて47都道府県を巡る全国行脚を行った経験を活かし、講演会では、歌や踊り、ギター弾き語り、パフォーマンスなどエンタテインメントの要素を取り入れつつ、人権、生きるヒントなど、聴く者全ての心を揺さぶる奥深い話をしていただきました。講演会の最後には心を揺り動かされた生徒がステージ上に駆け上がり、氏と一緒にパフォーマンス。講演会で会場 みんなが一緒になって考え、笑い、思いを共有した時間を過ごしました。



【生徒の感想】

「いじめを見つけたらちゃんと注意していきたいし、自分も人を傷つけるような言葉を言わないようにしたい」（1年女子）

「しみじみとした経験や前向きに生きていくことを聴けて、とてもよかったです。『心にマウンテン』の意味がわかりました。誠意や熱い思いが伝わった」（1年女子）

「全ての歌にすごく心がこもっていて、すごい気持ちが伝わってきた」（1年男子）

「いじめをなくすためにがんばっている姿はかっこいいと思った」（2年男子）

「泣きそうになりました。辛いことがあっても、自分の意志を貫き通し、自分を信じる強い人間になりたいです」（2年女子）

「とても興味深く、社会の隠れた厳しさや悲しみを知れてよかったです」（2年女子）

「音楽を通して人権問題を訴える姿にとっても勇気をもらいました」（3年女子）

「迷っても、自分を信じてこれからも進んでいこうと思いました」（3年女子）

「とても良いお話だと思いました。このお話を聴いて私ももっと人権への理解が深まる人が増えてくれればいいなと思いました」（3年女子）

「いじめや自殺はよくないものであると思う。他の人に嫌な気持ちを持たれないようなふるまいをしたい」（3年男子）

「普通とは何？まじめって何という話に共感できた」（3年女子）